

南ア月報
(2021年10月)

【内政】

- (地方選挙) 全国選挙結果運営センター (The National Results Operations Centre) の開所
- (地方選挙) 特別投票の実施
- 国家的災害事態の延長

【外政】

- SADC 政治・防衛・安全保障オーガン及びモザンビーク首脳会合の開催
- マーリキー・パレスチナ外務・移民長官の南ア訪問
- ラマポーザ大統領、故マシエル・モザンビーク大統領の式典に出席
- パンドール国際関係・協力大臣のコートジボワール訪問
- パンドール国際関係・協力大臣の G20 ローマ・サミット出席

【経済】

<経済指標>

- 消費者物価指数
- 為替レート
- 製造業生産高
- 鉱業生産高

<出来事>

- 英国政府が南アを「レッドリスト」から削除
- 南ア政府、ワクチン接種デジタル証明書の発行を正式に開始
- 12歳以上の子どもワクチン接種開始

【警備】

- 南ア治安情勢

1 内政

●(地方選挙)全国選挙結果運営センター(The National Results Operations Centre)の開所

26日、全国選挙結果運営センターの開所式が行われ、独立選挙委員会(IEC)は地方選挙の準備状況を公表した。

●(地方選挙)特別投票の実施

30～31日、11月1日の地方選挙に先立ち、特別投票が実施された。

●国家的災害事態の延長

13日、南ア政府は国家的災害事態(the national state of disaster)の1ヵ月延長(2021年11月15日まで)を発表した。

2 外政

●SADC政治・防衛・安全保障オーガン及びモザンビーク首脳会合の開催

5日～7日、ラマポーザ大統領は、SADC政治・防衛・安全保障オーガン議長として、上記首脳会合を開催し、ガインコブ・ナミビア大統領(次期オーガン議長)、マシシ・ボツワナ大統領(前オーガン議長)及びニュシ・モザンビーク大統領が当地を訪問した。同会合において、本年7月からモザンビークへ派遣されたSADCモザンビーク・ミッション(SAMIM)活動報告を検討し、同ミッションの功績を賞賛しつつ、さらなる活動の必要性につき議論を行い、SAMIM派遣期間の延長が決定された。

●マーリキー・パレスチナ外務・移民長官の南ア訪問

7日、パンドール大臣は当地訪問中のマーリキー・パレスチナ外務・移民長官と会談を行い、南アは、パレスチナの外交政策における基本的な信条を支持する旨のステートメントを発表した。

●ラマポーザ大統領、故マシエル・モザンビーク大統領の式典に出席

19日、ラマポーザ大統領は、35年前に逝去した故マシエル・モザンビーク大統領の没後記念式典に出席のために、ムプマランガ州ンコマジ地区を訪問した。同式典には、ニュシ・モザンビーク大統領及び故大統領の遺族も同席した。

●パンドール国際関係・協力大臣のコートジボワール訪問

20-21日、パンドール大臣はコートジボワールを訪問し、ウワタラ・コートジボワール大統領を表敬した。同大臣は、表敬に先立ち、両国の合同作業委員会を実施し、経済、社会、科学及び技術協力において両国がより一層協力関係を強化すること等につき協議した。

●パンドール国際関係・協力大臣のG20ローマ・サミット出席

30-31日、パンドール大臣は南ア政府代表団と共に、G20ローマ・サミットに出席した。

3 経済

<経済指標>

●消費者物価指数

2021年9月の年間消費者物価インフレーション率は5.0%と前月(4.9%)に比べ0.1%上昇、消費者物価指数(CPI)は前月から0.2%上昇した。(南ア統計局、10月20日)

●為替レート

2021年10月29日付(南ア準備銀行)

7.4447 ランド/円

15.2746 ランド/米ドル

17.8087 ランド/ユーロ

●製造業生産高

2021年8月の製造業は、前年同月比1.8%増。主なプラス要因は、食料品及び飲料で9.7%増。自動車及び輸送機器関連製品で17.7%増。鉄鋼、非金属製品、金属製品及び機械で7.6%増。木材及び木材製品、紙、出版及び印刷で12.5%増。家具その他製品で19.8%増。他方、マイナス要因は、石油、化学製品、紙、ゴム及びプラスチック製品で21.8%減。

また過去3ヶ月(2021年6月～2021年8月)の季節調節後生産高は2021年3月～5月の3ヵ月から6.3%減。製造業10部門中の9つの部門で生産高減となった。(南ア統計局、10月12日)

●鉱業生産高

2021年8月の鉱業生産高は、前年同月比2.0%増。主なプラス要因は、金で17.0%増、鉄鉱石で22.9%増、白金で4.4%増。

また過去3ヵ月(2021年6月～8月)の季節調節後生産高は2021年3月～5月の3ヵ月から0.4%増となった。(南ア統計局、10月12日)

<出来事>

●英国政府が南アを「レッドリスト」から削除

7日、英国政府は同国入国規制の一部である「レッドリスト」(最も厳格な規制の対象国リスト)から南アを除外することを発表した。更新された同リストは11日から有効で、英国到着時の隔離とそれにかかる2,295ポンドの費用負担が不要となる。

●南ア政府、ワクチン接種デジタル証明書の発行を正式に開始

8日、南ア政府は、ワクチン接種デジタル証明書の発行を正式に開始した。パーシャ保健大臣は、この証明書を利用することで、接種済みの人がスポーツや音楽、エンタメイベント、旅行や観光にアクセスできるようになると説明。(当館注：現在までに、実際にワクチン証明書が無いとアクセスできないサービスは無く、今後検討される見込み。)

●12歳以上の子どもワクチン接種開始

20日、12歳から17歳の子どもたちのワクチン接種が開始された。児童は接種するかどうかを自分で決断することができ、児童法でも許可(12歳以上は親の同意なしで接種が可能)。接種はファイザー社製を1回のみ。接種会場は、近場のワクチン接種会場となる。

4 警備

●南ア治安情勢

ハウテン州の主要ショッピングモールにおいて宝石店を対象とした強盗が複数発生した。犯人らの発砲により店主や警備員が死傷する凶悪な様態であった。

また、電力不足などによる計画停電が頻繁に実施されており、停電中を狙ったと思われる住宅を対象とした強盗・窃盗事件の発生もみられた。

近年、クリスマス休暇などのフェスティブシーズンが近づくと、強盗などの凶悪な犯罪が増加する傾向があるため、年末に向けてより一層の安全対策が必要といえる。